

令和元年(2019年)7月12日
令和元年度第1回多文化共生推進評議会 資料2

八王子市多文化共生推進プランに基づく取り組み状況

平成30年度(2018年度)

多文化共生推進プラン（改定版） 施策の体系図

【基本理念】 国籍、民族、文化の違いを互いに認め合い、助け合い、活かし合いながら共に暮らす多文化共生のまちづくり

基本目標	施策の柱	施策のテーマ	No	推進する施策	ページ数
<目標1> 外国人市民も安心して 暮らせるまちの実現	I コミュニケーション 支援の充実	1. 多言語等による情報提供の充実	1	行政情報、各種申請書の多言語化	1
			2	多言語による窓口対応、相談事業の充実	2
			3	語学ボランティア等の育成と活用	[重] 2
			4	案内表示等の多言語化	3
			5	やさしい日本語の普及と活用	[重] 3
		2. 日本語学習支援	6	日本語学習支援者の育成と活用	4
			7	外国人市民向け日本語学習機会の提供	4
		3. 外国人市民の社会参加	8	外国人市民のネットワーク活性化	5
			9	外国人市民の社会参加の支援	[重] 5
			10	外国人市民の町会・自治会等への加入促進	5
	II 生活支援の充実	1. 教 育	11	外国籍等児童生徒等への情報提供	6
			12	外国籍等児童生徒への日本語による学習支援	6
			13	不就学の外国籍児童生徒等への対応	7
			14	外国籍等児童生徒等の進路指導の充実	7
		2. 医療・福祉	15	多言語で対応できる医療機関の情報提供	8
			16	外国人にもわかりやすい医療・福祉情報の充実	8
			17	外国人患者への多言語対応の充実	9
		3. 住 居	18	多言語による暮らしに関連する情報の充実	10
			19	外国人市民への入居差別の解消、居住支援	10
		4. 就 労	20	外国人市民の就職・就業環境の改善	[重] 11
			21	外国人就業者とその家族の支援	11
		5. 防 災	22	災害時のわかりやすい情報提供	12
			23	外国人市民への防災・災害対応に関する意識の啓発	12
			24	災害時における外国人支援の仕組みの整備	13
			25	災害時の通訳ボランティアの育成・支援	13
		6. 外国人留学生	26	外国人留学生への生活支援	14
			27	外国人留学生への就職支援	[重] 14
			28	外国人留学生の能力を活用した地域活性化	[新]・[重] 15
			29	日本語学校に所属する外国人留学生の支援	[新] 15

多文化共生推進プラン（改定版） 施策の体系図

【基本理念】 国籍、民族、文化の違いを互いに認め合い、助け合い、活かし合いながら共に暮らす多文化共生のまちづくり

基本目標	施策の柱	施策のテーマ	No	推進する施策	ページ数
＜目標2＞ 国際感覚豊かな市民 を育むまちの実現	Ⅲ 多文化共生意識の啓発 国際理解・国際交流の推進	1. 多文化共生意識 の啓発	30	多文化共生意識啓発に関する事業の実施	16
			31	多文化共生を推進する人材の育成	[重] 16
			32	多文化共生意識啓発期間の設定	[新] 17
		2. 国際理解・国際 協力	33	国際理解の推進	[重] 18
			34	国際協力団体等との連携による国際協力及び啓発	18
		3. 外国人観光客等 へのおもてなし	35	外国人観光客等への観光案内	[重] 19
			36	おもてなしマインドの推進	[新] 19
			37	国際的なビジネスイベントへの対応	[新] 20
		4. 海外友好交流 都市等との交流	38	海外友好交流都市との交流	21
			39	青少年による文化・スポーツ等の海外交流事業の推進	21
			40	市民・民間団体等の海外交流事業の支援	22

※[新]・・・プランの改定に伴い、新規で追加しているもの [重]・・・プランの改定に伴い、重点施策に設置しているもの

施策No.1 行政情報、各種申請書の多言語化

【施策概要】 行政情報、各種申請書の翻訳を進め、多言語による情報提供の充実を図る。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				H30年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H30年度	R1年度	R2年度		
外国人のためのくらしの便利帳	行政情報や医療、防災などの日常生活に必要な情報を掲載した「外国人のためのくらしの便利帳」（英語、中国語、韓国・朝鮮語）を作成する。	16	→	→	→	外国人のためのくらしの便利帳の内容を更新し、転入時等に配布した。 作成部数 英語：390部、中国語：390部、韓国・朝鮮語：200部	H30年度 ○取組み数 38 ・新規取組み数 2 ・充実取組み数 3
外国人向け情報誌「Ginkgo」	市役所の業務や市の施設・行事紹介などを掲載した日本語（ルビ付）と併記の多言語（英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語）情報誌の作成する。	7	→	→	→	外国人向け情報誌「Ginkgo」を英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語で作成・配布した。（発行：年6回、各回2,268部） また、市民ボランティアが作成したインドネシア語版も一部で配布した。	
家庭用ごみ・資源物カレンダー外国語補助冊子の作成	家庭用ごみ・資源物収集カレンダー補助冊子を作成する。	18	→	→	→	英語、中国語、韓国・朝鮮語、タガログ語、スペイン語、ポルトガル語、ベトナム語、ネパール語、カンボジア語の計9種類の家庭用ごみ・資源物収集カレンダーの補助冊子（計9,000部）を作成した。	
外国語版高齢者あんしん相談センターパンフレットの配布	外国語版（英語・中国語・韓国語）高齢者あんしん相談センターパンフレットを作成及び各高齢者あんしん相談センターで配布する。	30	☆	→	→	これまでの日本語版に加え、新たに英語、中国語、韓国・朝鮮語版のパンフレット作成し、配布した。 作成部数 英語、中国語、韓国・朝鮮語：各1,000部	
図書館ホームページの多言語化	google自動翻訳機能を導入し、図書館ホームページの多言語化（英語、韓国・朝鮮語、中国語）を図る。	30	☆	→	→	平成30年（2018年）4月の図書館システム更新に合わせ、google自動翻訳機能を導入し、英語、韓国・朝鮮語、中国語対応にした。	各所管において、行政情報、各種申請書等の多言語化の取組みが徐々に進んでいる。

施策No.2 多言語による窓口対応、相談事業の充実

【施策概要】多文化共生推進事業協力員や八王子国際協会の語学ボランティアによる通訳のほか、多言語シートやICT技術等の活用により、多言語による窓口対応等の充実を図る。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				H30年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H30年度	R1年度	R2年度		
コミュニケーション支援ボードの作成・配備	災害発生時の避難所等におけるコミュニケーションを円滑に行うツールとして、「コミュニケーション支援ボード」を作成し、市内の避難所や一時滞在施設に配備する。	30	☆	→	→	英語、中国語、韓国・朝鮮語に対応した「コミュニケーション支援ボード」を作成し、市内の避難所や一時滞在施設に配備した。 作成部数：1,000冊	H30年度 ○取組み数 13 ・新規取組み数 1 各所管でICT技術等の活用をした窓口対応の充実を検討している。
弁護士による外国人個別相談	弁護士による外国人個別相談を実施する。	R1		☆	→	H30年は実績なし。 R1年度より弁護士による相談を実施を予定している。（3か月に1回）。	
多文化共生推進事業協力員制度	外国語のできる職員を登録し、市役所窓口での外国人市民対応を行う。	13	→	→	→	随時、外国語のできる職員の募集・登録を行い、派遣依頼に応じた。 登録者：93人（H31年3月末現在）	

施策No.3 語学ボランティア等の育成と活用

重点

【施策概要】市役所窓口や在住外国人サポートデスクのほか、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会などの国際的なイベント等においても語学ボランティア等が活躍できるよう支援する。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				H30年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H30年度	R1年度	R2年度		
IFSCボルダリングワールドカップ八王子での外国語通訳配置	IFSCボルダリングワールドカップ八王子大会において、多言語対応のために、通訳を配置する。	29	→	⇒	▲	八王子国際協会に通訳を委託し、IFSCボルダリングワールドカップ八王子2018での外国語通訳を配置した。 配置人数：40人	H30年度 ○取組み数 11 年々増加しているが、外国人市民の増加や2020オリンピック・パラリンピックに向けて、登録者を増やす必要がある。 語学ボランティア登録者数 H29：253人 H30：272人 H31：303人 （各年1月末）
外国人おもてなし語学ボランティア育成講座	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を見据え、外国人観光客等が安心して東京に滞在できる環境を整えるため、「外国人おもてなし語学ボランティア」を育成する。	27	→	→	×	「外国人おもてなし語学ボランティア育成講座」セットコースを2回実施した。 参加者数：70人	
語学ボランティア研修	語学ボランティア向けに研修を実施する。	15	→	→	→	語学ボランティア研修(3回、62人) 医療通訳研修(2回、61人) 防災・災害対応語学ボランティア研修(1回、18人)	

施策No.4 案内表示の多言語化

【施策概要】市の施設や東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて多言語案内表示重点地区に指定された八王子駅周辺地域等の多言語案内表示の充実を図る。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				H30年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H30年度	R1年度	R2年度		
JR八王子駅及び京王八王子駅周辺における案内サインの改善	東京2020大会を見据え、多言語化や連続性の確保、表示内容の統一化に向けた検討を行い、案内サインを改善する。	29	⇒	→	→	H29年度に設置した案内サイン等検討分科会において、基本ルール、サイン整備方針、サイン整備計画の策定、及び事業者毎の施工区分の取り決めを図った。	H30年度 ○取組み数 7 ・充実取組み数 4
ユニバーサルデザインガイドライン	外国人を含む全ての人にわかりやすい印刷物となるよう、ユニバーサルデザインガイドラインを作成する。	29	⇒	→	→	7月に改定したガイドラインに、新たに外国人への情報の伝え方や外国人のイラストの表現方法を盛り込んだ。また、職員を対象にeラーニング研修を行い、ガイドラインの周知を図った。	英語併記を中心に案内表示を進めている。

施策No.5 やさしい日本語の普及と活用

重点

【施策概要】「やさしい日本語」の普及啓発に努めるとともに、マニュアルの作成及び職員研修等により、行政情報の提供や窓口対応等における「やさしい日本語」の活用を推進する。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				H30年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H30年度	R1年度	R2年度		
やさしい日本語講座	市民向けにやさしい日本語講座を実施する。	27	→	→	→	やさしい日本語講座を1回実施した。 テーマ：「外国人にわかりやすい日本語を伝えよう！」 参加者数：14人	H30年度 ○取組み数 3
職員向けやさしい日本語研修の実施	職員研修時にやさしい日本語について説明し、職員に周知する。	26	→	→	→	職員研修を1回実施した。 テーマ：「やさしい日本語」 参加者数：79人	職員や市民向けに「やさしい日本語」の周知を図る。

施策No.6 日本語学習支援者の育成と活用

【施策概要】日本語学習支援を実施するボランティア団体等と連携し、日本語学習支援者の育成及び活動機会の充実を図る。

記号説明 ☆；開始、→；継続、⇒；充実、▲；見直し、×；廃止

事業名	事業内容	スケジュール				H30年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H30年度	R1年度	R2年度		
日本語ボランティア養成講座	外国人の日本語学習を支援するボランティアを養成する講座を実施する。	20	⇒	→	→	昨年度から実施回数を1回増やし、日本語ボランティア養成講座を4回実施した。 受講者数：106人（基礎講座：2回 54人、ステップアップ講座：2回 52人）	H30年度 ○取組み数 1 ・充実取組み数 1 日本語ボランティア養成講座の実施において日本語学習支援者数が増えるよう、ボランティア団体と連携している。

施策No.7 外国人市民向け日本語学習機会の提供

【施策概要】市内で開催する各種日本語学習教室の場所や日時等を配慮し、外国人市民が学びやすい環境を整備するほか、市内外問わず日本語学習教室の情報提供の充実を図る。

記号説明 ☆；開始、→；継続、⇒；充実、▲；見直し、×；廃止

事業名	事業内容	スケジュール				H30年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H30年度	R1年度	R2年度		
日本語教室	外国人支援団体等による日本語教室を実施する。	不明	→	→	→	外国人支援団体等による日本語教室の運営を支援した。 延べ参加者数：7,373人	H30年度 ○取組み数 3 市内外問わず日本語学習教室の情報を提供できるよう情報収集に努め、ホームページ等で公開していく。
外国人のための日本語教室	外国人のための日本語教室の実施する。	2頃	→	→	→	「外国人のための日本語教室」（3コース）を運営した。 延べ参加者数：1,132人 講座チラシは4か国語（英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語）で発行した。	
外国人介護従事者等に対する日本語学習支援事業	介護業務に必要な日本語の語学力を習得する教室を実施し、介護分野における人材の確保・育成のほか、質の高い介護サービスの提供体制の強化を図る。	R1		☆	→	H30年度は実績なし。 R1年度に、介護保険サービス事業所に就労し、又は就労する意欲のある在日外国人等に対し、初級、中級及び上級の各1クラスを開講し、介護業務に必要な日本語の語学力の習得を促す。	

施策No.8 外国人市民のネットワーク活性化

【施策概要】八王子国際協会が外国人市民、日本人市民のコミュニケーションの場としても機能するよう周知するとともに、イベントの実施、情報提供の充実、キーパーソンの育成等によるネットワークの活性化を図る。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				H30年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H30年度	R1年度	R2年度		
コミュニティグループの支援	Facebookを活用して構築されたコミュニティグループを支援し、参加促進イベントや交流イベントを開催する。	25	→	→	→	facebookを活用し、言語別の6つのコミュニティグループを支援し、コミュニティグループへの参加促進イベント（市内老舗めぐり、恵方巻とけんちゃん汁）を開催した。 延べ参加者数：19人	H30年度 ○取組み数 4 コミュニティグループ参加者数 中国語：51人、韓国・朝鮮語：18人、スペイン語：22人、英語（フィリピン）：36人、ベトナム語：16人、英語：39人 計：182人 (H31.3.31現在)
外国人コミュニティでの防災訓練	外国人が集まるコミュニティを対象に、防災訓練を実施する。	28	→	→	▲	八王子モスクの礼拝者を対象に防災訓練を実施した。 参加外国人数：約50人	

施策No.9 外国人市民の社会参加の支援

重点

【施策概要】外国人市民の能力を活かしたボランティア等社会活動への参加を促進するとともに、外国人市民が日本人市民とともに主体的に社会参加できる環境を整備する。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				H30年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H30年度	R1年度	R2年度		
語学講座	語学学習を通して、外国の文化や習慣を理解するための語学講座を実施する。	18	→	→	→	語学学習を通じて国際理解の促進を図る。（5か国語27コース） 延べ参加者数：418人	H30年度 ○取組み数 5
世界の人とのふれあいタイム	外国人が自国の歴史、文化などを映像や音楽などを交えて紹介する「世界の人とふれあいタイム」を実施する。	16	→	→	→	5回（スリランカ、パキスタン、コートジボワール、ネパール、ブラジル）開催した。 延べ参加者数：260人	外国人が企画・運営にも参加出来るよう支援を検討する。

施策No.10 外国人市民の町会・自治会等への加入促進

【施策概要】町会・自治会等に関する情報の多言語化を進めるほか、町会・自治会とつながるきっかけを作り、町会・自治会への理解を深めることで、加入促進を図る。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				H30年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H30年度	R1年度	R2年度		
外国人市民のための「町会・自治会への加入促進チラシ」	外国人に対して町会・自治会への加入促進を図るため、「町会・自治会への加入促進チラシ」の英語、中国語、韓国・朝鮮語版を作成する。	25	→	→	→	多言語版で作成したチラシを転入時等に配布し、町会・自治会への加入促進を図った。	H30年度 ○取組み数 3 外国人市民に対し、町会・自治会の活動内容について知ってもらう必要がある。

施策No.11 帰国・外国人児童生徒等への情報提供

【施策概要】文部科学省が提供している「帰国・外国人児童生徒教育のための情報検索サイト（かすたねっと）」等を活用し、帰国・外国人児童生徒等への多言語による情報提供を図る。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				H30年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H30年度	R1年度	R2年度		
多言語対応双方向通訳デバイスの活用	外国人児童・生徒及び保護者とのコミュニケーションを円滑に行うため、多言語対応双方向通訳デバイスを導入する。	R1		☆	→	H30年度は実績なし。 R1年度にPOCKETALK（ポケットーク）を導入し、必要に応じて各学校及び教育委員会事務局において活用する。	H30年度 ○取組み数 6 ・充実取組み数 1 「かすたねっと」については、市内小中学校に周知している。
外国籍等児童生徒就学時支援者の派遣	来日して間もない児童・生徒で、日本の生活や言語などが全く理解できない場合の就学時に、母語を理解できる外国籍等児童生徒就学時支援者を任用し、在籍校に派遣する。	4	⇒	→	→	H30年度より、支援時間を延長したほか、日本語の習得状況や学校生活への適応状況等に応じ、追加派遣を行った。 支援実績（支援児童生徒数）：小学校34名、中学校8名	

施策No.12 帰国・外国人児童生徒への日本語による学習支援

【施策概要】帰国・外国人児童生徒が学校生活に適応できるよう、市及び教育委員会、ボランティア団体等が連携し、日本語による学習支援の充実を図る。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				H30年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H30年度	R1年度	R2年度		
学習支援教室の実施	外国にルーツを持つ子どものための学習支援を行う学習支援教室を実施する。	21	→	→	→	北野学習支援教室（40回）、学習者数：21人 八王子駅前教室（37回）、学習者数：23人	H30年度 ○取組み数 8 ・充実取組み数 2 H30年度に初期指導教室の運営を開始したほか、支援者によるサポート時間を延長など対応の充実を図っている。
日本語の初期集中事業	来日して間もない、日本語が全くできない外国籍や帰国子女の中学生に対して、就学した直後に集中して日本語の指導を行い、円滑に学校生活に適応できるよう支援する。	29	⇒	→	→	打越中学校内に設置した日本語習得のための初期指導教室において、来日して間もない生徒に対して集中して日本語指導を行った。 参加者数：2名	

施策No.13 不就学の外国人児童生徒等への対応

【施策概要】多言語化した就学案内等を活用し、不就学の外国人児童生徒とその保護者への情報提供の充実を図る。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				H30年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H30年度	R1年度	R2年度		
就学に関する案内の多言語化	多言語版（英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語）の就学に関する案内を作成・配布する。	18	→	→	→	「日本語学級及び日本語指導について」「就学援助費について」の多言語版を窓口等で配布した。	H30年度 ○取組み数 5
学校入学前の就学案内の多言語による情報提供	外国人新入学児童・生徒の保護者への案内通知の多言語（英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語）で通知する。	18	→	→	→	小学校新入学案内通知・学校選択制案内通知・就学時健康診断通知・入学通知書を多言語で通知した。 通知実績（新入学児童生徒）：小学校55件 中学校36件	学習支援教室やGinkgoなどで情報提供しているが、不就学の外国人児童生徒の実態は把握できてない。

施策No.14 帰国・外国人児童生徒の進路指導の充実

【施策概要】進学等に関する情報の多言語化や高校進学ガイダンス等による進路指導の充実を図る。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				H30年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H30年度	R1年度	R2年度		
高校進学ガイダンス	外国にルーツを持つ子どもや保護者を対象に、高校入試制度等を説明する「日本語を母語としない高校進学ガイダンス」を実施する。	22	→	→	→	「日本語を母語としない高校進学ガイダンス」を実施した。 参加者数：32人 スタッフ：51人	H30年度 ○取組み数 4
「就学ガイドブック」の配布	文部科学省で作成している「就学ガイドブック」（多言語版）を保護者に配布し、日本の教育制度や受験制度について情報を提供する。	17	→	→	→	文部科学省で作成している「就学ガイドブック」（多言語版）を保護者に配布し、日本の教育制度や受験制度について情報提供した。	就学ガイドブックを配布しているが、母国との制度の違い等により理解できていない場合がある。

施策No.15 多言語で対応できる医療機関の情報提供

【施策概要】多言語対応可能な医療機関のリストを作成し、外国人市民が自ら適切な医療機関を選択できる体制を構築する。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				H30年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H30年度	R1年度	R2年度		
多言語対応可能医療機関の情報提供	多言語対応可能医療機関を検索できる東京都医療機関案内サービス“ひまわり”の案内、一部医療機関の多言語対応状況の紹介をする。	25	→	→	→	市ホームページやくらしの便利帳、市役所窓口等で東京都医療機関案内サービス“ひまわり”の案内を行った。	H30年度 ○取組み数 1 東京都医療機関案内サービス“ひまわり”の案内をしている。 今後、関係団体が提供している外国人向け医療機関情報を収集し、ホームページ等での情報提供の充実を図っていく。

施策No.16 外国人にもわかりやすい医療・福祉・子育て情報の充実

【施策概要】医療・福祉制度や子育てなどに関する情報の多言語化や「やさしい日本語」の活用を促進し、情報提供、窓口対応の充実を図る。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				H30年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H30年度	R1年度	R2年度		
手当・医療費助成制度のご案内	子育て家庭に対する手当や医療費助成制度の内容について、多言語版の案内を作成する。	R1		☆	→	H30年度は実績なし。 R1年度は、多言語化すべき情報を精査し、外国人にもわかりやすい案内を作成する。	H30年度 ○取組み数 17 ・新規取組み数 3 ・充実取組み数 1 新たに多言語に翻訳される文書も増えている。
保健相談	妊婦面談及び乳幼児健康診査等の保健事業において個別に対応する。	24	→	→	→	妊婦面談及び3～4か月児健康診査にて、英語版アンケートを作成し活用した。 乳幼児健診の未受診者へ訪問する場合は、外国語表記（英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、タガログ語、ポルトガル語）の手紙を活用した。 地区担当保健師による訪問、電話、面接相談や妊婦面談等を実施した。	
赤ちゃん・ふらっと	赤ちゃん・ふらっと（赤ちゃん用休憩室）の案内を、日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語で多言語表記する。	25	⇒	→	→	赤ちゃん・ふらっとを新たに設置する7施設（保育園、児童館など）に多言語表記された案内を表示した。	

施策No.17 外国人患者への多言語対応の充実

【施策概要】医療通訳ボランティアへの研修やICT技術等の活用により、多言語対応の充実を図る。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				H30年度の事業実績	現在の状況
		開始 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度		
語学ボランティア	語学ボランティア登録者の募集・育成・活用を行う。	20	→	→	→	語学ボランティアの募集を随時行っている。 登録者数：309人、24言語（平成31年3月末現在） 医療通訳ボランティア登録者数：13言語41人 災害時通訳ボランティア登録露者数：9言語：40人	H30年度 ○取組み数 3 東京都への広域医療通訳ボランティア派遣制度の構築を要望するほか、引き続き、国や都の動向について情報を収集する。
多言語医療問診票の医療機関への周知及び活用	災害時における多言語医療問診票の有効性を八王子市医師会を通して、各医療機関に紹介する。	26	→	→	→	災害時における多言語医療問診票の有効性を八王子市医師会を通して、各医療機関に紹介した。	

施策No.18 多言語による暮らしに関連する情報の充実

【施策概要】生活上のルールや住居に関する基礎知識等の情報を多言語化するとともに、関係機関等と連携して外国人市民への効率的な周知を図る。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				H30年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H30年度	R1年度	R2年度		
外国人のためのくらしの便利帳	行政情報や医療、防災などの日常生活に必要な情報を掲載した「外国人のためのくらしの便利帳」（英語、中国語、韓国・朝鮮語）を作成・配布する。	16	→	→	→	外国人のためのくらしの便利帳の内容を更新し、転入時等に配布した。 作成部数 英語：390部、中国語：390部、韓国・朝鮮語：200部	H30年度 ○取組み数 5 ・充実取組み数 1
指定収集袋制度	指定収集袋への外国語表記した。（英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語）	16	⇒	→	→	外国語（英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、タガログ語、ベトナム語、ネパール語、カンボジア語）を表記した収集袋を作成した。	外国人のためのくらしの便利帳で行政サービスや相談窓口の紹介を行っている。

施策No.19 外国人市民への入居差別の解消、居住支援

【施策概要】外国人市民が円滑に民間賃貸住宅に入居できる環境を整備するため、外国人であることを理由に入居を拒まない住宅の確保に取り組むとともに、入居の受入れにあたり賃貸人が抱く不安を解消するための入居支援を行う。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				H30年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H30年度	R1年度	R2年度		
居住支援協議会の設置・運営	住宅確保要配慮者（低額所得者、高齢者、障害者、子どもを育成する家庭、外国人その他住宅の確保に特に配慮を要する者）の民間賃貸住宅への円滑な入居を促進するため、不動産関係団体、居住支援団体と連携し、住宅情報の提供等の支援を行う。	27	⇒	⇒	⇒	・住宅確保要配慮者向け賃貸住宅を「あんしん住宅」として、あんしん住宅情報提供システム上に登録し、八王子市居住支援協議会ホームページで公開した。【6件登録】 ・住宅確保要配慮者の入居の相談に応じる不動産店を登録し、協議会ホームページで公開した。【16件登録】 ・住宅確保に関する相談窓口を設置した。相談件数：20件（外国人対応：1件） ・住宅確保相談会を1回開催した。	H30年度 ○取組み数 3 ・充実取組み数 1 H30年度に住宅確保要配慮者向けの住宅確保相談会の開催を開催し、R1年度は開催回数増などの充実を図っていく。

施策No.20 外国人市民の就職・就業環境の改善

重点

【施策概要】事業者や関係機関と連携し、就職支援セミナー等の開催や外国人市民を採用した企業への支援等により、就職・就業環境の改善を図る。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				H30年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H30年度	R1年度	R2年度		
留学生のための就職支援セミナー	外国人留学生が日本で就職するために知っておくべきことを学ぶための「留学生のための就職支援セミナー」の実施する。	21	⇒	→	▲	大学コンソーシアム八王子及び市企業支援課と連携し、「外国人留学生のための合同企業説明会」を実施した。 参加留学生数：9人 参加企業数：5社	H30年度 ○取組み数 6 ・充実取組み数 1
就職に関する情報の提供	日本で就職を希望される外国人市民や外国人留学生向けに情報を収集し、ホームページ等を活用して情報提供を図る。	R1		☆	→	H30年度は実績なし。 R1年度に、日本で就職を希望される外国人市民や外国人留学生向けに情報を収集し、ホームページ等で公開する掲載内容の充実を図る。	外国人労働者ハンドブックの配布や就職支援セミナーの開催に加え、ホームページ等での情報提供の充実を図っていく。

施策No.21 外国人就業者とその家族の支援

【施策概要】在住外国人サポートデスク等の相談窓口の充実を図るほか、関係機関等と連携し、就業者とその家族を支援する。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				H30年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H30年度	R1年度	R2年度		
技能実習生向けガイダンスの実施	技能実習生を受け入れている市内企業からの依頼に基づき、八王子市の外国人支援や生活マナーの説明をするガイダンスを実施する。	R1		☆	→	H30年度は実績なし。 R1年度は技能実習生向けにガイダンスの実施を予定している。	H30年度 ○取組み数 6
交通安全教育	日常生活や仕事に必要不可欠な日本での交通ルールやマナーに関する講習を行い、交通安全意識の高揚を図り、交通事故のない安全で安心なまちを創る。	不明	→	→	→	交通安全教育指導員派遣が外国人用パンフレット等（英語、ひらがな）を用いて、日本語学校、企業で交通安全教室を開催した。 東京国際外語学院 参加者数：34人 スーパーアルプス 参加者数：8人	外国人市民向けの交通安全教室などにより、就業者とその家族への支援の充実を図っている。

施策No.22 災害時のわかりやすい情報提供

【施策概要】関係機関と連携し、災害時の情報提供方法の多様化や内容の多言語化を進めるとともに、「やさしい日本語」を活用した防災情報の提供を図る。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				H30年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H30年度	R1年度	R2年度		
災害ヘルプカード・防災マップ普及	多言語（英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語）による災害ヘルプカード・防災マップを配布する。	25	→	→	⇒	災害ヘルプカード等は市民部窓口、防災訓練、大学等にて引き続き配布した。	H30年度 ○取組み数 4 ・新規取組み数 2 避難所で使用するコミュニケーション支援ボードの作成により、災害時の情報提供の充実が図られた。
コミュニケーション支援ボードの作成・配備	災害発生時の避難所等において、コミュニケーションを円滑に行うツールとして、「コミュニケーション支援ボード」を作成し、市内の避難所や一時滞在施設に配備する。	30	☆	→	→	英語、中国語、韓国・朝鮮語に対応した「コミュニケーション支援ボード」を作成し、市内の避難所や一時滞在施設に配備した。 作成部数：1,000冊	

施策No.23 外国人市民への防災・災害対応に関する意識の啓発

【施策概要】新たに多言語版防災マニュアルを作成するほか、各種防災訓練への参加を促進し、防災・災害対応に関する知識を学ぶ機会の充実を図る。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				H30年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H30年度	R1年度	R2年度		
外国人コミュニティでの防災訓練	外国人が集まるコミュニティを対象に、防災訓練を実施する。	28	→	→	▲	八王子モスクの礼拝者を対象に防災訓練を実施した。 参加外国人数：約50名	H30年度 ○取組み数 7 ・新規取組み数 1 外国人市民の防災意識が高まるよう、八王子市総合防災ガイドブック（多言語版）の活用や継続的に訓練への参加を支援していく。
八王子市総合防災ガイドブック（多言語版）の作成、配布	八王子市総合防災ガイドブック（英語、中国語、韓国・朝鮮語）を作成、配布する。	30	☆	→	→	八王子市総合防災ガイドブックの外国語版を作成した。 作成部数：英語700部、中国語600部、韓国・朝鮮語300部	

施策No.24 災害時における外国人支援の仕組みの整備

【施策概要】災害時外国人支援マニュアルの見直し等、外国人支援の仕組みの検証及び再整備を検討する。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				H30年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H30年度	R1年度	R2年度		
災害時対応マニュアル・多文化共生推進課	災害発生時に多文化共生推進課職員が迅速に行動出来るように「災害時対応マニュアル・多文化共生推進課」を作成する。	17	→	▲	▲	「災害時対応マニュアル・多文化共生推進課」を職員へ周知徹底するとともに、内容の見直しを検討した。	H30年度 ○取組み数 7 ・充実取組み数 1
外国人支援センター（八王子国際協会）への防災無線の設置	八王子国際協会に整備済の地域防災無線についての維持管理を実施する。	24	⇒	→	→	八王子国際協会に整備している地域防災無線について、維持管理に努めるとともに、新たにFAX機能を追加した。	災害時の外国人支援の仕組みの見直しを検討している。

施策No.25 災害時の通訳ボランティアの育成・支援

【施策概要】外国人留学生などにもボランティアの登録を働きかけるとともに、登録者を対象とした研修等によるスキルアップを図る。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				H30年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H30年度	R1年度	R2年度		
奨学金受給者の災害時通訳ボランティア活動制度	奨学金受給者に災害時の通訳ボランティアとして活動してもらうことを義務化する。	26	→	→	→	奨学金受給者に災害時の通訳ボランティアとして活動してもらうことを支給条件とした。 総合防災訓練参加者：18人 災害時のための語学ボランティア研修：2人 外国人のための防災訓練：1名	H30年度 ○取組み数 7
語学ボランティアの防災訓練への参加	語学ボランティア等が外国人市民と共に町会・自治会による防災訓練や総合防災訓練に参加できるよう支援する。	25	→	→	→	防災訓練に語学ボランティアが参加するよう支援した。 総合防災訓練：5人 市民センター防災訓練：2人	災害時の外国人支援の仕組みの見直しを検討している。

施策No.26 外国人留学生への生活支援

【施策概要】在住外国人サポートデスクの利用促進や大学等担当者間の情報共有の充実など、大学コンソーシアム八王子や関係機関と連携し、外国人留学生への生活支援の充実を図る。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				H30年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H30年度	R1年度	R2年度		
外国人留学生支援事業	大学コンソーシアム八王子の外国人留学生支援事業を支援し、留学生のイベントへの参加・生活支援を促進する。	25	→	→	→	各種事業を支援した。 留学生対策ワーキンググループ会議：2回開催 勉強会：11校21名 留学生座談会：2校5名（留学生及び大学職員） 八王子まつり山車曳き体験：留学生17名	H30年度 ○取組み数 7 ・充実取組み数 1 大学コンソーシアム八王子などの関係機関との連携を強め、増加傾向にある外国人留学生に対する支援の充実について検討する必要がある。
外国人留学生奨学金制度	外国人留学生に対して奨学金を支給し、その経済的負担を軽減することにより、学業への専念と留学生生活の向上を図る。	1	▲	→	→	49名に対して奨学金を支給した。 R1年度は支給対象者数を見直し、40名に支給する。	
外国人留学生住居賃貸代行保証料補助金制度	外国人留学生が八王子市で賃貸住宅を借り、保証人代行制度を利用した際の一部を補助する。	19	→	→	→	チラシ等を活用し、大学や留学生に周知した。 補助件数：10件	

施策No.27 外国人留学生への就職支援

重点

【施策概要】大学コンソーシアム八王子や関係機関との連携により、外国人留学生及び市内企業のニーズを把握し、市内での就職を希望する外国人留学生の就職を支援する。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				H30年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H30年度	R1年度	R2年度		
留学生のための就職支援セミナー	外国人留学生が日本で就職するために知っておくべきことを学ぶための「留学生のための就職支援セミナー」を実施する。	21	⇒	→	▲	大学コンソーシアム八王子及び企業支援課と連携し、「外国人留学生のための合同企業説明会」を実施した。 参加留学生数：9人 参加企業数：5社	H30年度 ○取組み数 3 ・充実取組み数 1 市内中小企業や外国人留学生のニーズを調査し、事業を検討していく。
留学生のための企業めぐり	外国人留学生が企業を訪問し、日本の企業の実態や良さを知ってもらうために「留学生のための企業めぐり」を実施する。	22	→	×	▲	「留学生のための企業めぐり」を実施した。 訪問企業：日本水産（株）、（株）コスモ計器、（株）菊池製作所 参加留学生数：4人	

施策No.28 外国人留学生の能力を活用した地域活性化

新規・重点

【施策概要】外国人留学生ならではの視点や能力を活かし、地域活性化につながる活動ができるよう支援する。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				H30年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H30年度	R1年度	R2年度		
施設見学会 「八王子の歴史文化を巡る バスツアー＆ワークショップ」	留学生及び、八王子市民、市若手職員を募集し、市内の公共施設・観光地を見学するツアーを開催する。	30	☆	▲	▲	市内の公共施設や観光地を見学するツアーを開催し、アンケートやワークショップを通じて、市の歴史文化の活用のための参考とする意見を聴取した。 参加留学生数：18人（中国、韓国、タイ、スリランカ） 【見学先】 いちよう祭り（甲州街道）、武蔵陵墓地、八王子城跡、中町見番、道の駅八王子滝山、澤井織物工場、高尾山	H30年度 ○取組み数 11 ・充実取組み数 3 ・新規取組み数 1 平成30年度は、高尾山口観光案内所ボランティアを全外国人留学生奨学金受給者が行うなど、ボランティア内容を精査している。
外国人留学生による高尾山口観光案内所での通訳ボランティア	外国人留学生奨学金受給者を中心に高尾山観光案内所にて通訳ボランティアを実施できるよう支援する。	27	⇒	→	→	奨学金受給者が7月から12月に高尾山観光案内所にてボランティアを実施できるよう支援した。 延べ参加者数：102人	

施策No.29 日本語学校に所属する外国人留学生の支援

新規

【施策概要】外国人留学生ならではの視点や能力を活かし、地域活性化につながる活動ができるよう支援する。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				H30年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H30年度	R1年度	R2年度		
日本語学校に所属する留学生へのアンケート調査	日本語学校に所属する留学生へアンケート調査を実施、支援策を検討していく。	30	☆	×	×	市内の日本語学校4校にアンケート調査を実施した。 回収件数：286件	H30年度 ○取組み数 3 ・新規取組み数 1
交通安全教育	日常生活や仕事に必要不可欠な日本での交通ルールやマナーに関する講習を行い、交通安全意識の高揚を図り、交通事故のない安全で安心なまちを創る。	不明	→	→	→	交通安全教育指導員派遣が外国人用パンフレット等（英語、ひらがな）を用いて、日本語学校、企業で交通安全教室を開催した。 東京国際外語学院 参加者数：34人 スーパーアルプス 参加者数：8人	日本で生活する上でのルールの周知や地域との交流について検討していく。

施策No.30 多文化共生意識啓発に関する事業の実施

【施策概要】多文化共生をテーマにした講演会、ワークショップや国際交流フェスティバルなどのイベント等を開催し、日本人市民の多文化共生意識の高揚を図る。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				H30年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H30年度	R1年度	R2年度		
多文化共生意識啓発パンフレット作成	啓発のための冊子を作成し、市民の多文化共生意識の醸成を図る。	R1		☆	→	H30年度は実績なし。 R1年度に多文化共生意識の啓発のためのパンフレットを作成する。	H30年度 ○取組み数 6 ・新規取組み数 1 令和元年度は意識啓発のためのパンフレットの作成や映像制作により重点的に取り組んでいる。
多文化共生意識啓発のための映像制作	啓発のための映像を制作し、市民の多文化共生意識の醸成を図る。	R1		☆	→	H30年度は実績なし。 R1年度に多文化共生意識の啓発のための映像を作成する。	
図書館での多文化共生をテーマにした展示	図書館で多文化共生をテーマにした展示を実施する。	30	☆	⇒	→	中央図書館にて、多文化共生をテーマにした図書の展示を実施した。 R1年度は、市立の全図書館で実施を予定している。	

施策No.31 多文化共生を推進する市民の育成

重点

【施策概要】ワークショップ等を企画し、多文化共生を推進する市民を育成するとともに、外国人・日本人市民が主体的に活動を行える環境を整備する。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				H30年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H30年度	R1年度	R2年度		
日本語ボランティア養成講座	日本語ボランティア養成講座の実施する。	20	⇒	→	→	日本語ボランティア養成講座の実施回数を増やした。 受講者数：106人（基礎講座：2回54人、ステップアップ講座：2回52人）	H30年度 ○取組み数 4 ・充実取組み数 1 日本語ボランティア養成講座等を行っているが、効果的な事業を行えていない。
多文化共生講演会	多文化共生意識の啓発のため講演会を実施する。	27	→	⇒	→	30年度は外国にルーツを持つ子どもの支援を考える講座を実施した。 テーマ：「外国にルーツを持つ子どもの学びのために」 参加者数：25名	

新規

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止

17 ページ

施策No.33 国際理解の推進

重点

【施策概要】オリンピック・パラリンピック教育や国際理解教育の実施に加え、世界の文化に触れる機会を創出し、国際理解の推進を図る。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				H30年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H30年度	R1年度	R2年度		
国際交流フェスティバル	地域の多文化共生を図ることを目的に国際交流フェスティバルの実施を支援する。	11	→	→	→	10月6日に学園都市センターで実施した。 来場者数：1,350人 協力外国人数：87人	H30年度 ○取組み数 14 ・充実取組み数 2 国際交流フェスティバルや小中学校での国際理解教育などを実施し、国際理解を推進している。
学校における国際理解教育	小中高校における国際理解教育の実施する。	18	→	→	→	小中学校等で国際理解教育を実施した。 実施件数：小学校4校・中学校4校・特別支援学校1校 参加生徒数：895名	
小中学校におけるオリンピック・パラリンピック教育	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、オリンピック・パラリンピアンへの派遣や世界ともだちプロジェクトなどを実施する。	28	⇒	⇒	⇒	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、オリンピック・パラリンピアンへの派遣や世界ともだちプロジェクトなどを実施し、小中学生に豊かな国際感覚を身に付けさせた。	

施策No.34 国際協力団体等との連携による国際協力及び啓発

【施策概要】国際協力団体や大学等と連携し、開発途上国等を支援するとともに、国際協力活動や倫理的（エシカル）消費の啓発活動等の周知を図る。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				H30年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H30年度	R1年度	R2年度		
倫理的（エシカル）消費の啓発	フェアトレード商品の購入など、人や社会・環境に配慮した消費行動を推進するため、倫理的（エシカル）消費関連の各種啓発活動を実施する。	29	→	→	→	・広報特集号に倫理的（エシカル）消費を掲載し啓発を行った。 ・小学校4年生以上を対象に「フェアトレード・チョコレートを作ろう」をテーマに消費生活講座を開催した。 ・中学生向け消費者教育副読本に倫理的（エシカル）消費を掲載し中学生への啓発を行った。	H30年度 ○取組み数 3 ・新規取組み数 1
太平洋島嶼部におけるごみ問題改善～ミクロネシア・チューク州での協働型2R推進プロジェクト～	JICA草の根技術協力事業のもと、平成29年度～平成31年度にチューク州ウェノ島のごみ問題解決に向けて、①2R（リデュース・リユース）普及啓発、②収集・車両整備の改善、③生ごみの自家処理の仕組み作りの取り組みを行う。	29	⇒	⇒	×	・現地NGOやスーパーマーケットの協力を得て、2Rに関する調査やレジ袋削減のためのイベントを実施した。 ・収集・車両整備マニュアル案を提示し、意見交換を実施した。 ・委託業者により、生ごみ処理槽（土中の微生物によって有機性ごみを分解する機材）を2基輸出し、1基を収集困難地に設置した。 ・市内小・中学校、大学にて本事業の紹介を実施した。	国際協力団体や大学等の関係団体との連携を図り、エシカル消費の啓発やJICA草の根技術協力事業など先進的な事業が行われている。

施策No.35 外国人観光客等への観光案内

重点

【施策概要】関係機関と連携し、海外へのPR、多言語による観光情報等を充実するとともに、外国人市民や外国人留学生、語学ボランティア等を活用した観光案内の体制を構築する。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				H30年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H30年度	R1年度	R2年度		
高尾山口観光案内所での留学生による通訳ボランティア	外国人留学生奨学金受給者を中心に高尾山観光案内所にて通訳ボランティアを実施する。	27	⇒	→	→	全奨学金受給者が7月から12月に高尾山観光案内所にてボランティアを実施した。 参加者：延べ102人	H30年度 ○取組み数 9 ・充実取組み数 3 海外への観光PRは様々なチャネルを活用し、充実し外国人観光客等への情報提供を充実させるため、外国人留学生との協力などを検討していく。
諸外国への観光PR	都の東京都観光財団を通じて、アジア等各国に外国語版観光ガイドマップ等を送付し、本市への誘客を促進する。	25	⇒	⇒	⇒	・横田基地で開催された独立記念祭に参加し、PRを実施した。 ・中国、イギリス旅行博へ東京観光財団を通じ資料参加を行った。 ・神奈川県、山梨県の近隣5市との高尾山・リニア広域観光拠点地区での連携事業においてプロモーション動画等を作成し、成田空港においてPRした。 ・京王沿線自治体が参画する台湾向け観光情報Facebookページを利用し、情報発信を行った。	
外国語版観光ガイドマップ	外国語版観光ガイドマップを作成する。	25	⇒	⇒	→	29年度に作成したQRコード付の写真映える観光地やイベントを掲載したリーフレット「Photogenic Hachioji」の英語版増刷に加え、韓国・朝鮮語、中国語（繁体字）版を作成し、多言語対応を推進した。さらに、滝山城跡を紹介した滝山三城マップの英語版を新たに作成した。	

施策No.36 おもてなしマインドの推進

新規

【施策概要】観光施設や商店街等における外国人観光客対応を支援し、外国人観光客へのおもてなしマインドを推進する。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				H30年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H30年度	R1年度	R2年度		
商店街の振興	増え続ける外国人観光客に向け、飲食店、小売店のメニューやPOPの多言語化等を進めるほか、商店街イベントへの外国人の参加を促す。	30	☆	→	→	一部の商店街で外国語対応のメニュー表を作成したほか、市内大学等の外国人留学生にイベントの飾り付けへの参加を促した。	H30年度 ○取組み数 2 ・新規取組み数 1 ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、外国人おもてなし語学ボランティアの育成を行っている。 ・商店街のチラシやメニュー等を多言語化し、外国人観光客や外国人市民の商店街の利用を促進する。

施策No.37 国際的なビジネスイベントへの対応

新規

【施策概要】国際的なビジネスイベント等の受入れに必要な事業者間の連携体制を構築する。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				H30年度の事業実績	現在の状況
		開始 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度		
IFSCボルダリングワールドカップ八王子での外国語通訳配置	IFSCボルダリングワールドカップ八王子において、多言語対応を図るため、通訳を配置する。	29	→	→	▲	IFSCボルダリングワールドカップ八王子2018では、八王子国際協会に委託し、外国語通訳を配置した。 配置人数：40人	H30年度 ○取組み数 3 ・新規取組み数 2 東京都が計画している「産業交流拠点（仮）」の整備にあわせ、外国人向けのツアーの検討を進めている。
MICEの推進	外国人市民や外国人留学生を活用したMICEボランティアの登録、派遣体制の整備を行う。	30	☆	→	→	市民ボランティアの協力を求め、外国人ツアーの通訳のほかガイドを依頼した。 派遣回数 3回 延べ12人	
東京2020大会に向けたホストタウン登録	ホストタウンとして、アメリカ合衆国のクライミングチームの事前キャンプ実施の支援を行うとともに、文化やスポーツ等を通じた相互交流事業を実施する。	30	☆	⇒	⇒	ホストタウンとして登録できるよう、各関係機関と調整を行った。 R1年度以降は、事前キャンプ実施を支援するとともに、さまざまな総合交流事業の実施を検討する。	
MICE事業と連携したエクスカージョン（体験型見学会）の実施	八王子観光コンベンション協会と連携し、海外からの来訪者に対して多言語による観光案内の体制を構築する。	R1		☆	→	H30年度の実施はなし。 R1年度は、外国人に参加を呼びかけ、八王子の魅力を体験もらうとともに、更に魅力ある商品開発を実現するため、八王子観光コンベンション協会と連携してエクスカージョン施行ツアーを開催する。	

施策No.38 海外友好交流都市との交流

【施策概要】海外友好交流都市に関連したイベントを通じて各都市の魅力を周知するとともに、各都市との活発な交流を促進する。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				H30年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H30年度	R1年度	R2年度		
台湾・高雄市とのパフォーマンス団相互派遣	八王子まつり及び高雄ランタンフェスティバルでのパフォーマンス団を相互派遣する。	18	→	→	→	八王子まつりには、高雄市から桃源中学校の生徒によるパフォーマンス団が派遣された。 高雄ランタンフェスティバルには、八王子市から法政大学YOSAKOIソーランサークル鳳遙恋を派遣した。	H30年度 ○取組み数 9 ・充実取組み数 1
海外友好交流都市への観光ツアー【観光コンベンション協会】	八王子観光コンベンション協会が実施する海外友好交流都市への観光ツアーを支援する。	25	⇒	→	→	高雄市への観光ツアーに加え、ドイツ・ヴリーツェン市への観光ツアーの実施を支援した。	肥沼信次博士を通じてドイツ・ヴリーツェン市の周知も進み、市民交流も増えている。

施策No.39 青少年による文化・スポーツ等の海外交流事業の推進

【施策概要】海外都市とのスポーツ、文化、音楽等の青少年交流事業を継続して行っていくほか、インターネット等の活用により、多種多様な交流事業を推進する。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				H30年度の事業実績	現在の状況
		開始年度	H30年度	R1年度	R2年度		
ドイツ・ヴリーツェン市学生交流事業	ドイツ・ヴリーツェン市との若い世代の交流を推進し、国際理解を図るため、高校生、大学生等による海外でのホームステイ交流を行う。	30	☆	×	▲	高校生、大学生等によるホームステイ交流を行った。帰国後は報告会を実施し、ヴリーツェン市の魅力を八王子市民に伝えるとともに、市民の国際理解の推進を図った。 派遣期間：8月27日～9月1日 派遣人数：高校生2人、大学生2人	H30年度 ○取組み数 5 ・新規取組み数 1
青少年海外派遣事業	海外友好交流都市に青少年を派遣し、スポーツ交流を通じて友好を深める。	19	→	→	⇒	海外友好交流都市（高雄市）に中学生を派遣し、剣道による交流のほか、現地での授業を通じた交流により友好を深めた。 派遣期間：12月26日～29日 派遣人数：16人	平成30年度は、ヴリーツェン市学生交流事業を実施した。

施策No.40 市民・民間団体等の海外交流事業の支援

【施策概要】市民団体や民間企業を対象に、経済、文化、スポーツなど様々な分野での海外交流を継続的に支援する。

記号説明 ☆：開始、→：継続、⇒：充実、▲：見直し、×：廃止

事業名	事業内容	スケジュール				H30年度の事業実績	現在の状況
		開始 年度	H30 年度	R1 年度	R2 年度		
海外交流支援デスク	海外友好交流都市との市民交流が活発に実施されるための相談窓口として海外交流支援デスクを設置する。	18	→	→	→	海外交流支援デスクでの市民交流支援をした。 調整件数：8件 延べ参加者数：136人	H30年度 ○取組み数 6 ・充実取組み数 1
海外友好交流事業補助金	市民等が海外友好交流都市との交流を行う際にかかる経費の一部を支援するための海外友好交流事業補助金を実施する。	18	→	→	→	・八王子市学生交流グリーンツェン市訪問団がグリーンツェン市でホームステイを通じた交流を実施：4人 ・法政大学YOSAKOIソーランサークル鳳遙恋が高雄ランタンフェスティバルに参加：15人 ・八王子富士森走友会が始興市のマラソンチーム（19人）と夢街道駅伝の参加を通じて交流	平成29年7月に新たにドイツ・グリーンツェン市と友好交流協定を締結し、市民交流が進んでいる。